

第38号



HAI
 (拜)
 KEI
 (啓)
 SHIN
 (新)
 BUN
 (聞)

発行日 平成18年1月15日
 発行 社会福祉法人 和敬会
 〒441-1318 愛知県新城市
 八東郷字天王1032番地の2
 TEL (0536)22-0760

<http://www.wakyokai.or.jp/>

●この広報紙は地球にやさしい再生紙を使用しています。



理事長新年あいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ますますお元気でよき年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業に温かいご理解とご支援を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

八楽児童寮においては、昨年より地域小規模児童養護施設の事業認可を得て、定員55名が6名増の計61名となりました。この地域小規模児童養護施設は、八楽児童寮が取り組んできたグループホームが国の制度として認められたものです。八楽児童寮ではすでに「杜の家」「陽の家」と二つのグループホームを運営しておりますが、さらに新城市内の緑が丘地内に二軒屋を取得し、「辛の家(ゆきのいえ)」として運営を開始することになりました。これで6小舎、3グループホーム計9軒となりました。

まどかの郷においては、本年実施される介護保険法改正で制度化される、「小規模多機能型居宅介護事業」を本年6月からの事業開始をめざします。この、「小規模多機能型居宅介護事業」とは、「通い」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて提供するサービスで、幸田町菱池地内の高齢者専用アパートの1階フロアーを社会福祉法人和敬会が賃貸し、そこで事業を展開する予定です。

このように本年度も、社会福祉法人和敬会が全精力を傾けて取り組む事業が目白押しとなっております。本年も何卒ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

花柳流 日本舞踊

花柳秀太良よどか公演開催

師走の声になんとも心せくある日、まどかの郷ふれあいホールでは気品と風情に満ちた優雅豊艶の極技とまでいわれる日本舞踊の舞が披露されました。

この日まどかの郷の舞台に立ったのは、静岡県熱海市からお越しいただいた花柳流お師匠の花柳秀太良さんと代田りつ子さんのお二人。

花柳秀太良さんは、日本舞踊名人賞をはじめとし熱海市の文化功労賞等数々の賞を受賞されるなど、いままなお伝承された伝統技法を受け継ぎながら、その時代における新たな試みを取り入れた日本舞踊を踊り続けておられます。

御歳を聞けばすでに70歳を有に越えておられるとのことでしたが、その舞には瑞々しささえ感じられました。

まどかの郷ふれあいホールには特養の皆さんのみならず、デイサービスの利用者さんも暫し日本舞踊に見惚れ、心ゆくまで日本の伝統芸能を堪能されました。

この年の瀬にちょうど早いお正月気分が味わえたと皆さん大変喜んでおられました。



私の楽しみ



「八楽」の名にちなんで、八楽児童寮ゆかりの八人の方にお聞きしている「私の楽しみ」。
七人目の登場は、株式会社スエヒロ産業社長安形憲二さんです。安形さんは、八楽児童寮の子どもたちのために旅行やクリスマス会の催しをしてくださる「扇会」の代表です。毎回アイディアに富んだ催しをしてくださる安形さんの「私の楽しみ」について伺ってみました。



よ。そういうのは苦手ですね（笑）。本当にいいことをしているのかなあと思ってしまっうね。本当は、旅行に行つた時に一緒に寝たりだとか、変な遠慮がなく物を買ってあげたりということをやつてあげたりとか、もっと中に入つて接したい、親代わりになんかやってあげたいと思う気持ちはあるんだけど、難しいなあと思うよ。

——よく子どもたちのことを考えていてくださることが伝わってきます。

基本的には人間が好きだもんでね。神様は現実には見えたりしないけどいると思う。見える神様は人間かな。どこがつて言うとなんか、子どもの笑顔は神様だな。これは間違いないと思うわけよ。あの笑顔で心が和むね。それが楽しくて、嬉しくて八楽に来てるつてもあるね。そういう意味では、子どもの笑顔を見に来るのは自分の楽しみの一つなのかな。

——安形さんは「書」や「ゴルフ」など多趣味なようです。楽しみは何でしょうか？

難しいねえ。自分から探してやり出したつてもはないから…。

——…と言いますと？

みんな自然の流れの中でやり出したことで「巡り会った」って感じだからね。楽しみにしているかと聞かれると難しいなあ。八楽の子どもとも巡り会ったことだし…。

——どういう巡り会いだつたんですか？

平成元年に交通遺児へ寄付金を持っていたら、新城警察署では受け取ってもらえる課がなくて、新城市の社会福祉協議会へ行き、そこから八楽児童寮に渡つたことがわかつてね。それで、それから直接八楽へ行つたりするようになって、いつの間にか旅行やクリスマス会の企画に変わったんだよ。

——なるほど。それからもう15年以上にもなるんですね。

子どもの顔を見ると、やめるにやめられないよ（笑）。

——安形さんがそのように子どもたちのことを想つてくださるからこそ、毎回必ず安形さんに懐く子がいりするんだと思います。安形さんの持つている雰囲気がいんだと思いますよ。

ついてきてくれるのはいいんだけど、離れるのが辛くなつてしまつてお互いに号泣したこともある



人を神様だと思い、人を大切にする安形さん。その優しいお気持ち子が子どもたちにも自然と伝わり、子どもたちの心を惹き付けるのだと思います。これからも子どもたちとの心温まる交流をお願いします。

私の原点

児童指導員

川 真由子

私がこの道を選ぶことになったきっかけは、高校三年の時、母から勧められて読んだ『シーラという子』という1冊の本との出会いにあります。著者トリイ・ヘイデンが、障害児教室でシーラという一人の被虐待児と出会い、喜怒哀楽を共にしながら深い信頼関係を結んでいく姿や、プライベートルナ時間を割いてまでシーラに情熱を注ぐ姿に、深く感動したことを今でもはつきりと覚えています。子どもが好きだった私は、それまで「子どもと関わる仕事＝保育士」という考えしか持っておらず、将来の道は保育士以外、他にないと思い込んでいました。そんな私に、この本は児童福祉という大きな扉を開いてくれたのです。その感動を胸に大学へ進学し、3年時の夏、児童養護施設で4週間の実習を行いました。初めて現場で子どもたちと接し、関わり方について悩んだり、子どもたちの置かれている立場を考え気が重くなったりしましたが、実習を終えてみると「楽しかったなあ」という思いが「一番強く残りました。そこでさらに「児童養護施設で働きたい」という意志が二層と強まったのです。

念願の児童養護施設で働いている現在、子どもたちと生活を共にしている私の毎日はとても充実しています。もちろん行き詰まり悩むこともたくさんありますが、それがあるからこそ、子どもたちと分かち合う喜びが一層輝くのです。この道に就いてからも、原点である『シーラという子』を時々読み返すことがあります。今では子どもに対しての悩みや関わり方において、著者トリイに多くを共感している自分があります。トリイはこの本について、「憐れを誘うために書いたものでもなければ、一人の教師を賞賛するために書いたものでもない。また、知らずにいけば安穩にいられるはずの人々の心をわざわざ落ち込ませるために書いたものでもない。そうではなくて、本書は心を病む子どもたちと一緒についていらいらないかという質問に対する答えなのだ。」と書いています。そう書いたトリイの気持ちがある今の私にはとてもよくわかるのです。

これから初心を大切に、子どもと分かち合う喜びを心の栄養源として生活を楽しくしていきたいと思っています。



グループホーム「幸の家(ゆきのいえ)」市内緑が丘地区に開設 第9小舎が誕生し定員61名になる

平成17年度から国の事業の「地域小規模児童養護施設」が認可されました。この事業は、長期にわたる家庭復帰が見込めない児童を対象に、現に児童養護施設を運営している法人等の支援のもと、地域社会の民間住宅等を活用して近隣住民との適切な関係を保持しつつ、家庭的な環境の中で養護を実施することにより、児童の社会的自立の促進に寄与することを目的とするものであります。まさに、昭和39年に「丘の家」が開設されて以来八栗児童寮が歩んできたグループホームの理念が国の制度になったものです。

この事業認可に伴い、八栗児童寮の定員は6名増員され計61名となりました。



ゆき 幸の家の命名

第9小舎となる今度の建物は、「さち多き家」と願って「幸の家(ゆきのいえ)」と命名されました。



幸の家担当 児童指導員 石塚麻衣

幸の家で子どもたちと暮らすことになりました石塚麻衣です。子どもたちと二つ屋根の下、私にとっては初めてのことで、何より嬉しいのは、子どもたちと一緒に生活をスタートできて、一緒に作っていくということです。わからないことや戸惑うことも多々あるかと思いますが、みんなで協力しあい支え合いながら、笑いが絶えない明るい家になりたいと思っています。よろしくお願いします。

幸の家を担当することになった間島由紀子です。にぎやかな住宅街の中で、楽しく生活して、子どもが自分なりの幸せを見つけて社会に巣立っていける家を作りたいと思っています。これからメンバーのみなで家の雰囲気作りをしていくので、どんな家になるのかは、お楽しみですね。きつとメンバー一人一人が手がけていくので、それぞれの幸の家の主人公だと思える家になると思います。これから、幸の家をどうぞよろしくお願い致します。

幸の家担当 児童指導員 間島由紀子



10周年企画

「まどかの郷年賀状デザイン10年史」

“あなたからも来るとうれしい年賀状”

まどかの郷から新年の御挨拶を年賀状に綴りお届けします。

わが国には古来から親しい間柄、お世話になった人へ新年の挨拶を手紙に託し送るという風習がありました。明治4年（1871）に新式郵便が創業されると、早くて安い年賀葉書が使われるようになり、益々盛んになったといわれています。

昭和24年（1949）からはお年玉つき郵便葉書が発行されるようになり、平成17年度（18年用）の発行枚数は、40億2千万枚にものぼるそうです。そのうちの1枚を感謝を込めてお届けします。

まどかの郷は昨年、開設してちょうど10年という節目を迎えました。

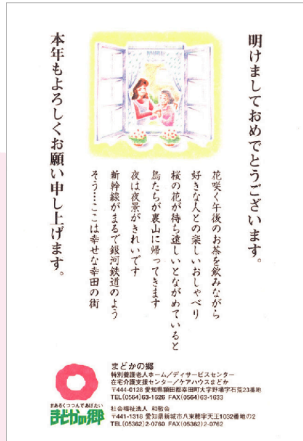
この10年のまどかの郷の年賀状デザインを紙上で振り返りながらタイムスリップしてみました。

1997年



「いい町です 皆さんありがとう おじいちゃんも おばあちゃんも みんな のんびり 元気 ですよ」
こんなキャッチコピーが年賀状に込められていました。
開所して1年。町民の皆様に向けたまどかの郷からのメッセージが初々しいです。

1998年



この年は65歳以上が2千万人を突破しました。いよいよ本格的な高齢社会を迎えまどかの郷の役割が益々増えていくそんな予感を感じる年賀状となりました。

2000年



2000年の元旦。介護保険制度幕開けの年ということで気分一新を誓う意味も込めて年賀状のデザインを横サイズにしてみました。

2001年



介護保険制度がスタートし介護サービス事業所が増え訪問介護事業所や居宅介護支援事業所という新しい名前が年賀状に刷り込まれました。介護保険制度により個別ケアの徹底が図られるようになり「ほかにほかに家でありたい」というメッセージが印象的です。

2003年



日本人の平均寿命がこの年男性は78.36歳、女性85.33歳となり、いよいよ人生100年時代を予感させる年となりました。まどかの郷ロゴマークを囲むイラストはホームページにも登場します。

2004年



まどかの郷の事業所に「福祉用具貸与事業所」が書き加えられこの年から8つの事業所が名前を連ねるようになりました。まどかの精神である「まあるく」は健在で「のびやかに」を付け加えました。



2006年



平成18年 元旦



施設長 太田二郎
職員一同

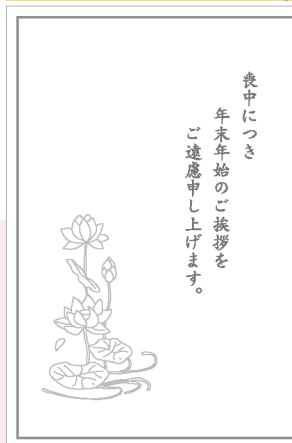
- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- 居宅介護支援事業所
- デイサービスセンター
- 訪問介護事業所
- 福祉用具貸与事業所
- 在宅介護支援センター
- ケアハウスまどか

〒444-0128 愛知県額田郡幸田町大字野場字石荒23番地
TEL (0564) 63-1626 FAX (0564) 63-1633

E-mail madoka@wakyokai.or.jp http://www.wakyokai.or.jp/madoka/

「今年もまあるくわんだフルに暮らしましょう」と、まどかの郷からのメッセージです。この一年が皆様にとってよりよい年となりますように願いを込めて元旦お手元にお届けしました。
今年は、改正介護保険法施行の年、制度が大きく変わる変革の時でもあります。
地域の皆様のご期待に応えるべく努力してまいりたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

1999年



太田松枝理事長の逝去を悼みこの年は喪中のため御挨拶を失礼させていただきました。年賀状の発送がなかった1年でした。

2002年



まどかの郷の総合パンフレットのイメージイラストが登場し、この年からぼのぼのとした温かいイラストが印刷物に使われるようになりました。まどかの郷の職員と家族とのふれあいの場面を象徴しています。

2005年



ジグソーパズル風にしてみました。時代が入り組み複雑化するなかでピースを一つ一つはめ込むように自分に合った介護サービスを作り上げていくオーダーメイドの介護サービスを意識してのことです。

ゆく年
くる年
この1年

まどかの郷10大ニュース

ゆく年くる年 この1年 2005年を振り返ると、国内ではJR福知山線での快速電車脱線事故、NHK受信料不払い問題、知床世界遺産登録といった出来事があり、世界に目を向ければ中国での抗日デモ、ロンドンサミットでの地下鉄爆破テロなど悲惨な事件事故が数々ありました。まどかの郷でもこの1年いろいろな出来事がありましたので10大ニュースにまとめてご紹介しましょう。

1位

「食費・居住費自己負担増」

平成18年4月の改正介護保険法施行を前に、10月から施設サービス・ビスの食費・居住費の見直しが行われました。入所者・利用者の皆様に大きな負担をお願いすることとなりました。

2位

「栄養ケアマネジメント開始」

10月から栄養ケアマネジメントが開始されました。お一人おひとりの栄養状態を把握しながら食生活のケアプランを作成していくというものです。

3位

「愛・地球博開催」

地元愛知で開催された愛・地球博。まどかの郷では開催期間中20回出掛けした職員がいました。



4位

「田所貴行・松野有里・山岸心一結婚」

長い交際期間を経てゴールインした田所貴行さん、熱愛の松野有里さん、職場恋愛を实らせた山岸心一さん、それぞれの幸せに乾杯です。



5位

「野場地区土地区画整理」

まどかの郷周辺の風景がすっかり変わってしまいました。150軒の住宅がまもなく整備されることになり、住宅街の一角にまどかの郷が位置するという感じになりそうです。



6位

「人材派遣職員着任」

時代と共に雇用形態も変わり、人材派遣会社から派遣社員が職場に混じるようになりました。いよいよFITA交渉により今度は外国人労働者が職場に登場する日もそう遠くなくそうです。



7位

「コンピュータソフト続々バージョンアップ」

5年に1度の介護保険制度改正に向けて、コンピュータソフトが次々にバージョンアップされていきます。ちなみに愛用ソフトの後継ソフトとして「絆2005」が選ばれました。

8位

「認知症型デイサービス事業開始」

デイサービスでは「認知症型」を新たに設け事業開始をしました。まだまだ利用者数は少ないですが、認知症対策に先駆けての取り組みです。

9位

「デイサービス利用者が100歳誕生日」

デイサービスご利用者で100歳の誕生日をお迎えになられた方がお二人。デイサービスで誕生日会を行い花束を贈呈しました。

10位

「ソフト食導入」

嚥下の困難な方にもカタチあるものを食べていただきたいの思いからソフト食を取り入れ好評をいただいています。刻みや極刻みからソフト食の時代へ。

人、社会、地球の新しい未来へ
Drive Your Dreams

トヨタウェルキャブシリーズに 新登場したラクティスに試乗

トヨタ自動車がつまなく新しいコンセプトで新登場させた「小型自動車ラクティス車いす仕様車」の販売促進パンフレット制作に、まどかの郷が全面協力しました。

「ラクティス初体験！デイサービスご利用者編」と題して試乗レポートにチャレンジしたのです。

デイサービスの介護スタッフ中湯美由紀さんが「一時も目を離せないから、隣に座れるとすごく安心ですね。」と小型車初となる4名乗車に感心すると、鳥居知宏在宅主任がさすが「コースづくりがラクになりそう」とその機動性を絶賛。施設長も「二人ひとりのニーズに応えられる送迎サービスが可能」とラクティスの効率性に期待を寄せるコメントを…。ぜひ、機会がありましたらお近くのトヨタ自動車販売店に出向き「ラクティスまるわかりガイド」を手に取ってみてください。

きっとラクティスに乗りたくなるはずです。



左から施設長の太田さん、介護スタッフの中湯さん。手前はデイサービス利用者さん。

一時も目を離せないから、隣に座れるとすごく安心ですね。

まあるいドーム型の建物が日印の特別養護老人ホーム「まどかの郷」。毎日30名前後のデイサービス利用者の送迎は、リフト付きワンボックスカー3台と大型バス1台の計4台を使っているそうで、小型車での送迎は今回が初めてとのこと。発売されたばかりのコンパクトカー「ラクティス」でデイサービス送迎の試乗体験。施設長・介護スタッフ・利用者さん、それぞれの立場でのご感想は…。



社会福祉法人和歌会「まどかの郷」
鳥居知宏在宅主任に携える総合福祉施設。特別養護老人ホームをはじめ、デイサービスやショートステイなど3つのサービスで高齢者の自立支援を行っています。

試乗レポート タイプ1



ラクティス初体験「うちにも1台ほしい〜！」とみなさん大評判!!

ラクティスが玄関前に到着！
今まで見たこともない小型スロー車に興味津々。



施設長のお話
「高品質で高効率な送迎サービスができるね」

最近ではデイサービスでも「午前中だけの利用」など様々なニーズがあるんですよ。でも、この車ならそんな一人ひとりのニーズに応えられる高品質な送迎サービスができそう。ワンボックスや大型バスで一人の利用者を送迎するという非効率もないから、経営面でも助かりそうだね。

車両担当者の話
「コース作りがラクになりそう」

送迎コースから離れた地域の方の送迎に便利そう。これが一台あると車両の割り振りが簡単になって、当日の急なキャンセルや申し込みにも柔軟に対応できるんじゃないかな。いまは毎日、送迎コース作りを頭を悩ませているんですよ。

ゆるやかなスローを使って車いすのまま車内へ。いつもと違う操作に介護スタッフさんも緊張気味です。

介護スタッフのお話
「負担が少なく女性にもやさしい車」

車いすの乗り入れが楽早く安全にできました。時間がかかると後ろの車にクラクションを鳴らされて、利用者さんがビックリしちゃう。また、操作中しゃがむ姿勢が少ないから腰も痛くならなくて本当に助かりました。

デイサービス利用者のお話
「乗り降りの時間が短いのがうれしいね〜」

乗り入れから固定までとてもスムーズで驚きました。介護スタッフさんにはいつも大変な苦労をかけているので、操作が簡単で、短い時間で乗り降りできるのは私にとってうれしいことです。



移動中も笑顔の絶えない車内。みなさんにご感想を伺いました。

介護スタッフのお話
「常に顔が見えて安心でした」

車いすの方の近くにシートがあつて肩で支えるのが能力です。せまい道のすれ違いも苦にならないし、大型車では入らない入り組んだ住宅地に住んでいらっしゃる利用者さんを自宅の前までちゃんと送迎できます。

介護スタッフ車ドライバーのお話
「自宅前まで車で乗り込めるね」

小回りが効くから運転がラクですね。せまい道のすれ違いも苦にならないし、大型車では入らない入り組んだ住宅地に住んでいらっしゃる利用者さんを自宅の前までちゃんと送迎できます。

デイサービス利用者のお話
「すごく快適で車酔いもなかったです」

身体も車いすもしっかりと固定されているから、揺れも少なく快適でしたよ。前に介護スタッフさんについてくれたしね。

ここがPOINT!

●小型車初「車いす側の標準シート」

車いすの方のすぐ近くに標準シートを装備。車いすの方の腕で介助することができます。

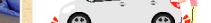


●新しい固定装置(電動式)

スイッチひとつで車いすを確実に固定する新しい固定装置(電動式)を標準装備しています。

●静か＆スムーズな車高降下

高級車に採用されるエアサスを装備。車高降下時、後席時の騒音とショックがありません。

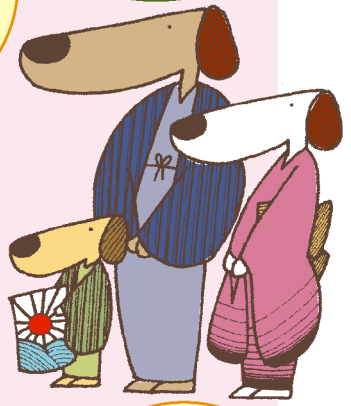


まどかの郷
八楽児童寮
平成18年
年男・年女 戌

まどか

利用者様から「ありがとうございます」「こちらこそありがとうございます」その笑顔に感謝。皆様のそのステキな笑顔に日々感謝し、一生懸命頑張りたいと思います。

訪問介護：ヘルパー
前田久美子



八楽

野球の試合でホームランを打ちたいです。

小5 男 しょうた

八楽

ドッチボールで速い球を投げたいです。

小5 男 ゆうき

まどか

まどかの郷に来て、まだ3ヶ月ですが、皆さんから元気をもらっています。健康に気をつけ、少しでも役に立てよう頑張っていきたいです。

訪問介護：ヘルパー
深津由子

八楽

課外活動のソフトボールを頑張りたいです。

小5 男 としろう

八楽

公文書を頑張ってかしくなりたいです。

小5 男 じゅんいち

まどか

皆さんと一緒に明るく笑顔で過ごしていきたいです。今年もよろしくお願いします。

特養：介護職員
中根梨恵

八楽

Smileナンバー1のお姉さんを目指して頑張ります。

職員 林知実

八楽

今年は自分にとって挑戦の年です。自分らしく頑張りたいと思います。

職員 山口紗織

まどか

まどかの郷に入ってまだ1年も経っていない年女ですが、ミスを減らし、もっと仕事を覚えられよう頑張りたいです。

特養：事務職員
小笠原真理子

八楽

新グループホーム『幸の家』の名の如く、みんなが幸せになれる家を作っていきたいです。

職員 間島由紀子

まどか

「年女」今迄気にもしていなかったこの巡りに今年からは自身の老後の設計も企てて行かなければならない節目の年になりそうです。子どもも自立し身軽になった今、趣味を多く開拓し健康に留意しあくせくせず心穏やかに日々過ごせたらと思います。

特養：調理員
浜野タエ

八楽

イチロー選手みたいにヒットをいっぱい打ちたいです。

小5 男 ゆうた

まどか

まどかの郷の職員となって数ヶ月が経ちましたが、慣れて気を抜くことがないように気を引き締め、今後も介護技術の向上に努めていきたいです。また、1月には子どもが産まれる予定なので愛する妻と子どものために一生懸命働きます。

特養：介護職員
本 明真

八楽

笑顔を忘れずに頑張ります。

職員 石塚麻衣

まどか

9月に入ったばかりで迷惑をかけることが多いですが、もっと介護について勉強をし、実力をつけて利用者さんの為に役立ちたいと思っています。

デイサービス：介護職員
鈴木景子

八楽

マラソン大会で連続優勝したいです。

小6 男 たくみ

まどか

初心忘れず、白衣の天使のように優しい目でみつめ、笑顔で過ごしたいと思います。

特養：看護職員
原田信子

まどか

まどかの郷に就職してあという間の1年。皆様に穏やかな生活を送っていただける介護を心がけたいと思います。今年も平成18年。まどかの郷を駆け回ります。本年もよろしくお願いします。

特養：介護職員
黒野英子

八楽

跳び箱で8段が跳べるようになりたいです。

小5 男 こうじ

まどか

一日一日を大切に、笑顔で明るく元気に頑張りたいと思います。Happyな年にしたいと思います。

特養：介護職員
西尾江美

まどか

ウー ワンワン もう成年ですか...
年月も身体も歳を感じる今日この頃、今年の抱負は、犬にちなんだ地域No1(ワン)にならなくてもOnly1(ワン)。
その人その人の為のディサービスになりたい!

ディサービス：生活相談員
鳥居知宏

八楽

漢字テストで100点をいっぱい取りたいです。

小5 女 あんな

八楽

課外活動のバスケットボールでレギュラーを取りたいです。

小5 男 こうき

八楽

課外活動のバスケットボールが上手になりたいです。

小5 男 けいご

まどか

思いもかけず、怪我で長期間仕事を離れ迷惑をかけたおしだったことを思うと健康って本当に宝と思わざるを得ません。自分らしく、笑顔でいるためにもしっかりと意識して体を動かしていこうと思います。

ディサービス：介護職員
市成伸子

TELの場合
FAXの場合
郵送の場合



今回の記事についての感想や新コーナーのご提案、近況報告など皆様からのお便りをお待ちしております。

〒441-1131
愛知県新城市八束穂
宇天王103番地の2
社会福祉法人 和敬会
拝啓新聞編集室まで

